

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11)特許番号

第2653990号

(45)発行日 平成9年(1997)9月17日

(24)登録日 平成9年(1997)5月23日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K	7/48		A 6 1 K	7/48
	7/00			7/00
				J
				R
				U
	7/50		7/50	

請求項の数24(全 6 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願平7-64623	(73)特許権者	391023932
(22)出願日	平成7年(1995)3月23日		ロレアル
			LOREAL
(65)公開番号	特開平7-300410		フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14
(43)公開日	平成7年(1995)11月14日	(72)発明者	リアン・ブーベルトラン
(31)優先権主張番号	94 03452		フランス・91600・サヴィニ・シュー
(32)優先日	1994年3月24日		ル・オルグ・リュ・ローマン・グリモー
(33)優先権主張国	フランス (FR)		クス・1
		(72)発明者	ナタリー・ルーペーブラザン
			フランス・94550・シェヴィリ・ラリ
			ュ・リュ・デュ・ベル・マズリエ・18
		(74)代理人	弁理士 志賀 正武 (外2名)
		審査官	瀬下 浩一

(54)【発明の名称】 ポリアミド粒子を含有するスキנקレンジングマスク化粧品組成物およびその使用方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】 クレンジングマスクとして使用されるゲル状の化粧品組成物であって、水性のゲルと、主要なクレンジング剤として前記水性のゲル中に分散された特定の大きさの略球形状のポリアミド粒子とを含有し、前記粒子が組成物の全重量に対して12重量%以上の割合で存在することを特徴とする化粧品組成物。

【請求項2】 粒子が、組成物の全重量に対して12～35重量%の範囲の割合で存在することを特徴とする請求項1記載の化粧品組成物。

【請求項3】 粒子が、1.0～1.84g/cm³の範囲の密度を有することを特徴とする請求項1または2記載の化粧品組成物。

【請求項4】 粒子が、1.02～1.4g/cm³の範囲の密度を有することを特徴とする請求項1ないし3

のいずれか1項に記載の化粧品組成物。

【請求項5】 粒子が、5～50μmの大きさを有することを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1項に記載の化粧品組成物。

【請求項6】 粒子が、10～30μmの大きさを有することを特徴とする請求項1ないし5のいずれか1項に記載の化粧品組成物。

【請求項7】 ゲルが、水溶性のビヒクル中に少なくとも一種以上のゲル化剤を含有し、該ゲル化剤が、水溶性ポリマーおよび水中でコロイド溶液を与えるポリマーから選択されることを特徴とする請求項1ないし6のいずれかに記載の化粧品組成物。

【請求項8】 ゲル化剤が、不飽和カルボン酸のポリマーおよび共重合体、不飽和エステルポリマーおよび共重合体、多糖類の誘導体、ゴム、コロイド性のケイ酸